

正 誤 表

「この1冊でわかる！麻酔科・ペインクリニック実践ハンドブック（第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
228	本文3行目	アドレナリン 20 μ g/kg	アドレナリン 0.2 μ g/kg

249	<p>表 1</p>	<p>※本書紙面にて右端文字の一部が印刷範囲外となっております。 下記表が欠落箇所のない表でございます。</p> <table border="1" data-bbox="846 257 1638 998"> <tr> <th colspan="2">表 1 神経障害痛を評価するスケール</th> </tr> <tr> <td colspan="2">神経障害性痛スケール (Neuropathic Pain Scale : NPS)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ○神経障害性痛の強さと痛みによる不快感に関するやや多面的要素を含んだ評価法 ○痛みを sharp, hot, dull, cold, sensitive, itchy, deep, surface の項目ごとに数値評価スケールに準じて 0~10 の 11 段階で評価する </td> </tr> <tr> <td colspan="2">Pain DETECT questionnaire (PDQ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ○痛みを神経障害痛と侵害受容痛とに鑑別する鑑別用スクリーニングツール (質問紙法) (日本語版の "The Pain DETECT Questionnaire-Japanese version (PDQ-J)" がある) ○痛みの段階付 7 項目, 経過パターン 1 項目, 広がり 1 項目の計 9 項目の合計で採点される ○簡便で, 汎用性, 信頼性, 再現性, 一貫性がある </td> </tr> <tr> <td colspan="2">Leeds assessment of neuropathic symptoms and signs (LANSS)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ○神経障害痛と侵害受容痛を判別するスクリーニングツール ○痛みに関するアンケートに加えてアロディニアと痛覚閾値に関する検査を行い, 点数化する </td> </tr> <tr> <td colspan="2">Douleur Neuropathique 4 Questions (DN4)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ○神経障害痛のスクリーニングツール ○痛みの性質, 随伴する異常感覚, 知覚障害や痛みの誘発因子について質問形式で評価する </td> </tr> <tr> <td colspan="2">Neuropathic Pain Scale (NPS)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ○痛みの強さと不快感を評価するスケール ○神経障害痛の性質を問わず各項目の該当点数に X をつけて判定する ○有痛性神経障害の治療による影響を評価する際に有用である </td> </tr> <tr> <td colspan="2">Pain Quality Assessment Scale (PQAS)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ○痛みの質と神経障害痛の程度を評価する NPS に, 新たな 20 項目を追加して作られたスケール ○神経障害痛の評価と侵害受容痛の痛み強度の評価に有用 ○治療薬の選択に際して有益である </td> </tr> </table>		表 1 神経障害痛を評価するスケール		神経障害性痛スケール (Neuropathic Pain Scale : NPS)		<ul style="list-style-type: none"> ○神経障害性痛の強さと痛みによる不快感に関するやや多面的要素を含んだ評価法 ○痛みを sharp, hot, dull, cold, sensitive, itchy, deep, surface の項目ごとに数値評価スケールに準じて 0~10 の 11 段階で評価する 		Pain DETECT questionnaire (PDQ)		<ul style="list-style-type: none"> ○痛みを神経障害痛と侵害受容痛とに鑑別する鑑別用スクリーニングツール (質問紙法) (日本語版の "The Pain DETECT Questionnaire-Japanese version (PDQ-J)" がある) ○痛みの段階付 7 項目, 経過パターン 1 項目, 広がり 1 項目の計 9 項目の合計で採点される ○簡便で, 汎用性, 信頼性, 再現性, 一貫性がある 		Leeds assessment of neuropathic symptoms and signs (LANSS)		<ul style="list-style-type: none"> ○神経障害痛と侵害受容痛を判別するスクリーニングツール ○痛みに関するアンケートに加えてアロディニアと痛覚閾値に関する検査を行い, 点数化する 		Douleur Neuropathique 4 Questions (DN4)		<ul style="list-style-type: none"> ○神経障害痛のスクリーニングツール ○痛みの性質, 随伴する異常感覚, 知覚障害や痛みの誘発因子について質問形式で評価する 		Neuropathic Pain Scale (NPS)		<ul style="list-style-type: none"> ○痛みの強さと不快感を評価するスケール ○神経障害痛の性質を問わず各項目の該当点数に X をつけて判定する ○有痛性神経障害の治療による影響を評価する際に有用である 		Pain Quality Assessment Scale (PQAS)		<ul style="list-style-type: none"> ○痛みの質と神経障害痛の程度を評価する NPS に, 新たな 20 項目を追加して作られたスケール ○神経障害痛の評価と侵害受容痛の痛み強度の評価に有用 ○治療薬の選択に際して有益である 	
表 1 神経障害痛を評価するスケール																													
神経障害性痛スケール (Neuropathic Pain Scale : NPS)																													
<ul style="list-style-type: none"> ○神経障害性痛の強さと痛みによる不快感に関するやや多面的要素を含んだ評価法 ○痛みを sharp, hot, dull, cold, sensitive, itchy, deep, surface の項目ごとに数値評価スケールに準じて 0~10 の 11 段階で評価する 																													
Pain DETECT questionnaire (PDQ)																													
<ul style="list-style-type: none"> ○痛みを神経障害痛と侵害受容痛とに鑑別する鑑別用スクリーニングツール (質問紙法) (日本語版の "The Pain DETECT Questionnaire-Japanese version (PDQ-J)" がある) ○痛みの段階付 7 項目, 経過パターン 1 項目, 広がり 1 項目の計 9 項目の合計で採点される ○簡便で, 汎用性, 信頼性, 再現性, 一貫性がある 																													
Leeds assessment of neuropathic symptoms and signs (LANSS)																													
<ul style="list-style-type: none"> ○神経障害痛と侵害受容痛を判別するスクリーニングツール ○痛みに関するアンケートに加えてアロディニアと痛覚閾値に関する検査を行い, 点数化する 																													
Douleur Neuropathique 4 Questions (DN4)																													
<ul style="list-style-type: none"> ○神経障害痛のスクリーニングツール ○痛みの性質, 随伴する異常感覚, 知覚障害や痛みの誘発因子について質問形式で評価する 																													
Neuropathic Pain Scale (NPS)																													
<ul style="list-style-type: none"> ○痛みの強さと不快感を評価するスケール ○神経障害痛の性質を問わず各項目の該当点数に X をつけて判定する ○有痛性神経障害の治療による影響を評価する際に有用である 																													
Pain Quality Assessment Scale (PQAS)																													
<ul style="list-style-type: none"> ○痛みの質と神経障害痛の程度を評価する NPS に, 新たな 20 項目を追加して作られたスケール ○神経障害痛の評価と侵害受容痛の痛み強度の評価に有用 ○治療薬の選択に際して有益である 																													
271	本文 29 行目	血糖効果作用	血糖降下作用																										

2021 年 3 月 17 日
株式会社南江堂